

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	247	学校名	仙台市立南光台中学校	校長名	今野 浩平
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「生徒がSDG sの重要性に気づく学校活動」



2 取組の紹介

年間の取組・活動(生徒の活動)の概要

① 宿泊研修(海岸清掃, 下水道エコシステム・バイオマス発電所見学, 植林活動)

2学年によるSDG sの重要性に気づく2泊3日間の研修の様子です。山形県鶴岡市での取組を実際に体験しました。経済活動の発展と自然環境の維持との共存をどのようにしていくべきかを考えました。



② 総合的な学習「国がなくなる? キリバス共和国と地球温暖化」

2学年による研修です。日本人から初めてキリバス人に帰化したケンタロ・オノさん(宮城県出身)に、キリバスの生活や文化, そして, 地球温暖化, SDG sについてお話いただきました。地球温暖化を自分事として捉えさせることにつながる講話となっていました。



③ エコキャップ・プルタブの回収

ボランティア委員会によるエコ活動です。ポスターや朝・帰りの会などの呼びかけを通して毎月1回程度でエコキャップ・プルタブの回収を行っています。今後も支援活動をし続けることが, 自然環境への意識を高めると考えています。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

地域・企業・NPOなどの人々が実際に活動している内容を直接聞いたり体験したりしたことで, 子供たちの普段の授業中での発言や, 清掃活動・ボランティア活動に大きな変化が現れています。SDG sという言葉をも身近に捉え始めたことで, 世界の出来事にも関心が高まり, 持続可能な社会への担い手としての意識が芽生えてきているようです。学校内だけでなく地域活動でも積極的に関わっており, 南光台中学校区の地域の皆様にも頼られています。今後も, 協働して快適なまちづくりを目指すような中学校・中学生を目指して活動していきます。